

## いのち まなび かかわり あんな上級生になりたいと下級生が目標にできる学校

中山町は、山形県のほぼ中央部にあり、面積は市町村の中で一番小さい町です。町内ひとつのわが中学校は、来年度創立50周年を迎え、校舎も改築されます。“いのち、まなび、かかわり”を柱に、「仲間とともに困難に立ち向かい、高い目標に向かって努力し続ける生徒」を育む教育活動を展開しています。

### 「さわやかな歌声」と「明るいあいさつ」

中山中の校歌は、校歌では珍しい混声4部合唱で構成されています。生徒は誇りと自信を持って、式典ではもちろん、全校朝会で大きく、さわやかな歌声を響かせています。また、生徒会執行部や生活委員会の活動として、生徒昇降口で朝のあいさつ運動を行っています。毎日「おはようございます」という大きな声が響き合います。



### 朝の読書と黙想タイム

毎日の朝読書を通して豊かな心を養い、終わりの会のはじめに1分間の黙想を行い、心静かに1日の生活を振り返

ります。25年続いている黙想タイム、全校が一斉に静かになります。

### 一人一鉢運動

整備委員会の活動として、生徒一人一人がペチュニアの花を鉢植えし、ベランダで育てています。黙想タイムと同じく実施して25年目になります。校舎が花で囲まれたように美しくなります。水やりの世話など花を育てることを通して心を豊かにし命の大切さを学んでいます。



### 地域の人々との交流

将来、豊かな家庭人、地域人、社会人になるために、3年間の中で計画的に町内での職業体験、ボランティア活動を行い、地域の人々との交流を図りながら、生き方についての学習を行っています。



## 郷土を愛し、地域活動に積極的に参加する舟形中

本校は、若鮎と古代ロマンの里・舟形町にある、町内唯一の中学校です。国宝に指定された「縄文の女神」が学校のすぐそばの西の前遺跡より発掘されました。全校生徒114名で、普通学級が3学級、特別支援学級が3学級という規模です。舟形町の良さを実感できる、感動体験を数多く取り入れています。

### 舟形町の素晴らしさや魅力の再発見

#### 2年生職場体験（トライワーク）

・農業体験を通してキャリア教育への自覚を高め、地域社会に貢献しようとする気持ちを育てることをねらって実践しています。特に、マッシュルームや酪農、アスパラなど、町特産の農業体験をすることによって、舟形町の良さに気づかせたいと考えています。

#### 舟形町福祉体験Ⅰ（サマーボランティア）

・町の福祉施設を訪問し、高齢者や身体障がい者の方たちと交流したり、手伝いをするによって、キャリア教育への自覚を高め、地域社会に貢献しようとする気持ちを育てることをねらっています。夏休み中に自主参加で、行っています。

#### 舟形町福祉体験Ⅱ（障がい者セミナー）

・町の福祉科と連携し、車いす体験、盲導犬体験を実施しています。障がいを持つ人への接し方などを学ぶとともに、舟形町では、どんな手立てを講じているのかを学ぶ良い機会になっています。

### 舟形町中学生模擬議会

・舟形町役場議会場において、舟形町中学生模擬議会を行っています。3年生社会の授業の実習で、実際の議会と同じ形式で、生徒の代表が議員となり、町長さんに一般質問、そして政策提言の提出を行っています。舟形町の活性化につながる意見がたくさん出されています。

### 畑の楽校

・3年生総合的な学習の時間に、町の教育委員会・産業振興課・JA新庄もがみさんと連携し、畑の楽校として、里芋・長ネギ・ジャガイモの植え付けを行っています。収穫した里芋やネギは、舟友祭で芋煮として保護者・地域の方に振る舞われています。

